

令和5年度 第1回浜松市社会福祉審議会

高齢者福祉専門分科会

日 時 令和5年7月6日（木）15：00～
場 所 浜松市役所本館8階 第5委員会室

次 第

1 開 会

2 健康福祉部長挨拶

3 新任委員の紹介

4 会長挨拶

5 議事

(1) はままつ友愛の高齢者プランの令和4年度事業実績について

資料1

(2) 次期はままつ友愛の高齢者プラン策定に伴う実態調査の結果報告について

資料2

6 連絡事項

・第2回高齢者福祉専門分科会 8月25日（金）15：00～

・その他

7 閉会

令和5年度 浜松市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員名簿

令和5年5月24日現在

No.	区分	所属団体	役職	氏名	備考
1	地域住民組織	浜松市自治会連合会	理事	いしかわ けいいち 石川 恵一	
2	地域住民組織	浜松市老人クラブ連合会	副会長	ちゅうじょう みさお 中 条 操	新任
3	福祉関係団体	浜松市ボランティア 連絡協議会	副会長	おぎの やすたか 小木野 安孝	
4	福祉関係団体	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	常務理事	やました ふみひこ 山下 文彦	
5	福祉関係団体	浜松市民生委員児童委員 協議会	副会長	さかい ひさし 坂井 久司	
6	福祉関係団体	浜松市社会福祉施設 協議会	理事	みずたに ひでお 水谷 秀夫	職務 代理者
7	保健医療 関係団体	一般社団法人 浜松市医師会		ふじしま ゆりこ 藤島 百合子	
8	保健医療 関係団体	公益社団法人 静岡県看護協会	西部地区支部	いけや ちかこ 池谷 千香子	新任
9	知識経験者	聖隷クリストファー大学	教授	さかい まさこ 酒井 昌子	会長
10	知識経験者	浜松市議会		つゆき りえこ 露木 里江子	新任

社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会座席表

令和5年7月6日(木)
第5委員会室

	酒井 昌子 会長		水谷 秀夫 職務代理者	
坂井 久司 委員				石川 恵一 委員
藤島 百合子 委員				中条 操 委員
池谷 千香子 委員				小木野 安孝 委員
露木 里江子 委員				山下 文彦 委員
	事務局		事務局	
	事務局		事務局	

はままつ友愛の高齢者プランの令和3・4年度事業実績について

2 成果目標（プランP.50）

区 分	成果目標	単位	実績		計画値			備 考
			R3 (2021)	R4 (2022)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
[重点施策1] 自立支援、介護 予防・重度化防止	健康寿命 (65歳時点での平均 自立期間:お 達者度)	年	男性 18.64 女性 21.61 (H30)	男性 18.75 女性 21.76 (R1)	延伸	延伸	延伸	お達者度（静岡県調査による、市の介護認定情報等をもとに算出した、65歳から元気で自立して暮らせる期間）
[重点施策2] 在宅医療・介護連携の 推進	人生の最終段階に受ける医療やケアの希望を家族等と共有している高齢者の割合	%	—	48.9	—	15.0	—	プラン策定に伴う実態調査（全区分合計）結果による ※R1の質問項目と変更有
[重点施策3] 認知症施策の総合的 推進	認知症サポーター 累計人数	人	58,826	62,160	59,600	63,200	66,900	高齢者福祉課調査による「認知症サポーター」の累計人数
[重点施策4] 介護サービスの充実・ 質の向上	入所・入居系施設 新規整備床数	床	0	18	0	18	18	認知症対応型 共同生活介護の 施設整備数
[重点施策5] サービス提供人材 確保・定着・育成	資格取得費用 助成人数	人	152	161	260	260	260	介護職員キャリア アップ支援による 助成人数
[重点施策6] 地域共生社会の実現に 向けた事業の推進	住民主体サービス 実施か所数	か所	11	10	14	17	20	高齢者福祉課調査による「補助金を活用し、住民主体サービスを実施しているか所数」
[施策展開における視点] 災害や感染症対策に 係る体制整備	施設・事業所 (入所・通所) の事業継続計画（BCP）の作成	%	31	33	50	75	100	高齢者福祉課・介護保険課調査による作成率 作成済施設数÷全施設数

1 保健福祉サービス・地域支援事業サービス（プランP.51～53）

予防

項目		実績		計画			想定		
		R3 (2021)	R4 (2022)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R7 (2025)	R22 (2040)	
①	介護予防(健康づくり)事業 延実施人数(人)	C	5,347	6,095	12,750	12,800	12,850	12,950	13,700
②	ロコモーショントレーニング事業 実参加者数(人)	C	13,426	14,052	16,600	17,400	18,200	20,000	20,000
③	口腔ケア・栄養改善支援事業 延実施人数(人)	C	1,315	995	1,100	1,200	1,500	1,700	1,700
訪問型サービス	④介護予防訪問サービス 延利用人数(人)	B	17,704	17,908	17,602	17,983	18,343	18,883	20,236
	⑤生活支援訪問サービス 延利用回数(回)	B	385	296	727	738	755	781	845
	⑥住民主体訪問型サービス 延利用回数(回)	B	182	358	156	208	260	364	1,144
	⑦住民主体訪問型移動支援 サービス 延利用回数(回)	B	217	271	240	360	480	720	2,520
通所型サービス	⑧介護予防通所サービス 延利用人数(人)	B	45,251	47,287	43,484	44,408	45,304	46,641	49,994
	⑨元気はつらつ教室 実利用人数(人)	B	1,396	1,220	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
	⑩住民主体通所型サービス 延利用回数(回)	B	244	310	216	240	264	312	672
⑪	介護予防ケアマネジメントA (介護予防訪問サービス・介護予防 通所サービス利用) 延件数(件)	B	34,400	33,559	33,863	34,001	34,177	34,404	36,237
⑫	介護予防ケアマネジメントB (生活支援訪問サービス・元気はつ らつ教室・運動器の機能向上トレ ーニング教室利用) 延件数(件)	B	12,687	11,756	15,351	15,413	15,493	15,596	16,427
⑬	介護予防ケアマネジメントC (住民主体訪問型サービス・住民主 体通所型サービス利用) 延件数(件)	B	2	7	30	30	30	30	30

※ 51～53ページの項目欄のアルファベットは事業区分を示したもの 「A:保健福祉サービス」「B:総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)」「C:総合事業(一般介護予防事業)」「D:包括的支援事業」「E:任意事業」

医療・介護

項目		実績		計画			想定	
		R3 (2021)	R4 (2022)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R7 (2025)	R22 (2040)
①在宅医療・介護連携相談センター 延相談件数(件)	D	1,322	1,258	1,050	1,150	1,250	1,350	1,500
②多職種連携研修会・講演会 実施回数(回)	D	11	13	10	13	15	18	20
③認知症 サポーター 養成講座	養成人数(人)	2,863	3,334	3,500	3,600	3,700	3,900	5,400
	累計人数(人)	58,826	62,160	59,600	63,200	66,900	74,600	145,100
④認知症 サポート医 養成	養成人数(人)	4	5	5	5	5	5	3
	累計人数(人)	80	85	85	90	95	105	125
⑤オレンジカフェ(認知症カフェ) 設置数(か所)	D	7	18	21	28	35	40	44
⑥オレンジシール 登録者数(人)	E	928	978	850	900	950	1,000	1,200
⑦オレンジメール 登録者数(人)	E	2,514	2,866	2,550	3,000	3,450	3,900	5,000
⑧ささえあいポイント事業 登録ボランティア数(人)	C	4,129	4,088	4,550	4,800	5,050	5,550	6,300

生活支援・住まい

項目		実績		計画			想定	
		R3 (2021)	R4 (2022)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R7 (2025)	R22 (2040)
①地域包括支援センター運営事業 設置数(か所)	D	22	22	22	22	22	22	22
②地域包括支援センター 総合相談件数(件)	D	55,632	55,547	50,200	50,400	50,600	51,000	53,700
③地域包括支援センター 権利擁護相談件数(件)	D	4,453	4,161	4,400	4,420	4,400	4,470	4,700
④地域ケア 会議	個別ケースケア会議 ・実施件数(件)	128	163	156	172	188	220	220
	圏域会議 ・開催回数(回)	40	56	45	45	45	45	45
⑤配食サービス 延利用食数(食)	A	82,078	84,666	74,100	74,400	74,700	75,300	79,800
⑥緊急通報システム 利用人数(人)	A	1,305	1,222	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
⑦家族介護継続支援事業 延参加者数(人)	E	1,256	1,108	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
⑧高齢者介護用品の支給 延利用人数(人)	E	232	245	330	330	330	330	330
⑨成年後見制度利用支援事業 申立件数(件)	E	24	41	45	50	55	65	120
⑩成年後見制度利用支援事業 報酬助成件数(件)	E	58	88	70	80	90	110	250
⑪養護老人ホーム	定員(人)	420	420	420	420	360	360	360
	施設数(か所)	6	6	6	6	6	6	6
⑫軽費老人ホーム (A型)	定員(人)	100	100	100	100	100	100	100
	施設数(か所)	2	2	2	2	2	2	2
⑬軽費老人ホーム (ケアハウス)	定員(人)	698	698	698	698	698	698	698
	施設数(か所)	14	14	14	14	14	14	14
⑭生活支援ハウス	定員(人)	41	41	41	41	41	41	41
	施設数(か所)	4	4	4	4	4	4	4
⑮シルバーハウジング等入居者安心 確保事業 対象戸数(戸)	E	34	34	34	34	34	20	20
⑯高齢者住宅改造助成事業 助成件数(件)	A	3	5	7	7	7	7	7

浜松市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う実態調査の結果報告について

1 趣 旨

老人福祉法第 20 条の 8 の規定等に基づく次期高齢者保健福祉計画及び介護保険法第 117 条の規定に基づく次期介護保険事業計画を一体的に「はままつ友愛の高齢者プラン」（計画期間：令和 6～8 年度）として策定するにあたり、高齢者の生活状況や活動状況、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態調査を行ったので、その結果を報告するもの。

2 調査対象・回収状況

種 別	対 象 者	標本数	有効回収数	有効回収率
高齢者一般調査	市内在住の 65 歳以上の人で、介護認定を受けていない人	3,000	1,936	64.5%
在宅要支援認定者調査	市内在住の介護認定（要支援 1・2）を受けている人（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。）及び事業対象者の人	3,000	1,823	60.8%
在宅要介護認定者調査	市内在住の介護認定（要介護 1～5）を受けている人（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。）	3,000	1,561	52.0%
合 計		9,000	5,320	

3 調査方法等

- ・抽出方法 介護保険システムから該当者を無作為抽出
- ・基準日 令和 4 年 11 月 25 日現在
- ・調査方法 郵送により実施（自記式）
- ・調査期間 令和 4 年 12 月 14 日～令和 5 年 1 月 10 日

4 調査結果報告書

別冊を添付

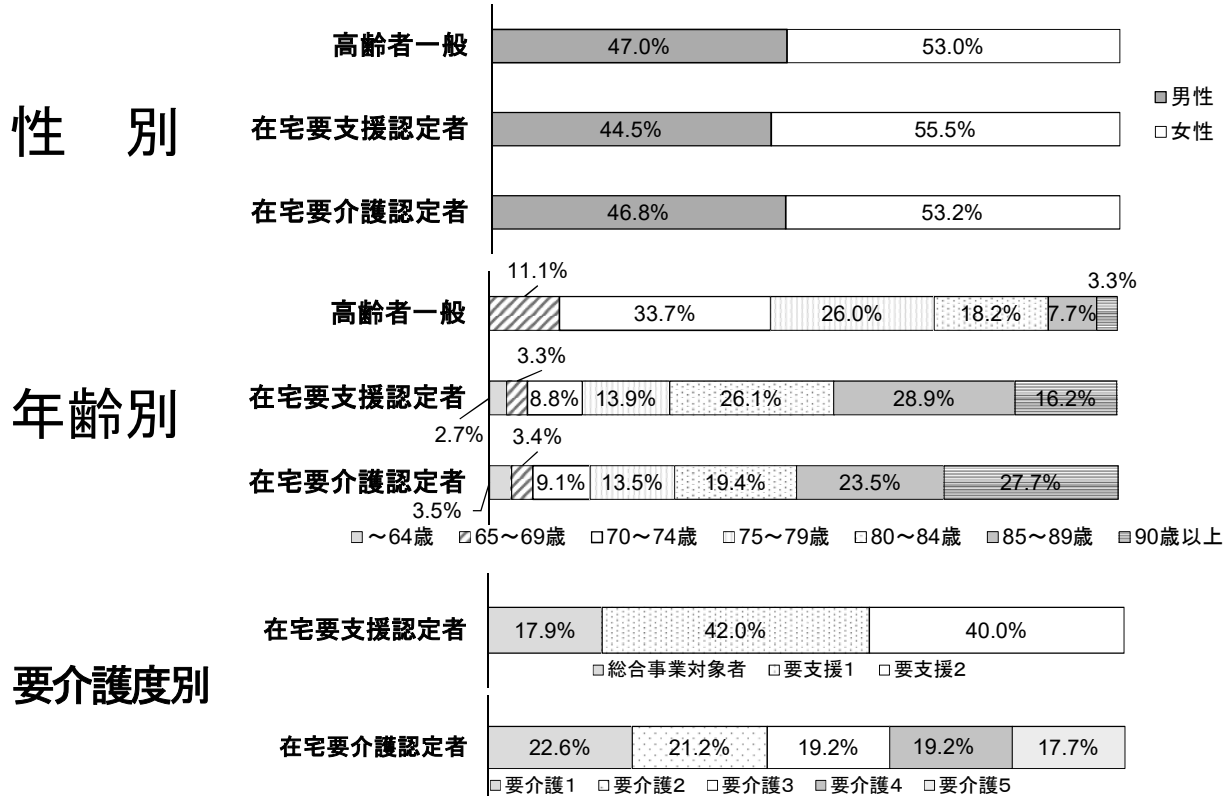
5 令和5年度計画策定スケジュール（予定）

時期	内 容
5月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会厚生保健委員会 【報告】実態調査の結果
7月	<ul style="list-style-type: none"> <u>第1回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会</u>・第1回介護保険運営協議会 【審議】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告 第1回地域包括支援センター運営協議会 【報告】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告
8月	<ul style="list-style-type: none"> <u>第2回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会</u>・第2回介護保険運営協議会 【審議】骨子案
9月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会厚生保健委員会 【報告】骨子案 <u>第3回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会</u>・第3回介護保険運営協議会 【審議】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施
10月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回地域包括支援センター運営協議会 【報告】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施 <u>第4回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会</u>・第4回介護保険運営協議会 【審議】プラン（案）、パブリック・コメント実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会厚生保健委員会 【報告】プラン（案）、パブリック・コメント実施
1月	<ul style="list-style-type: none"> <u>第5回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会</u> 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン（修正案） 第5回介護保険運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン（修正案）、給付費と保険料設定
2月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会厚生保健委員会 【報告】プラン（修正案）（保険料案含む） パブリック・コメント結果の公表 第3回地域包括支援センター運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果、プラン（修正案）
3月	<ul style="list-style-type: none"> プラン決定・公表



調査対象者の状況

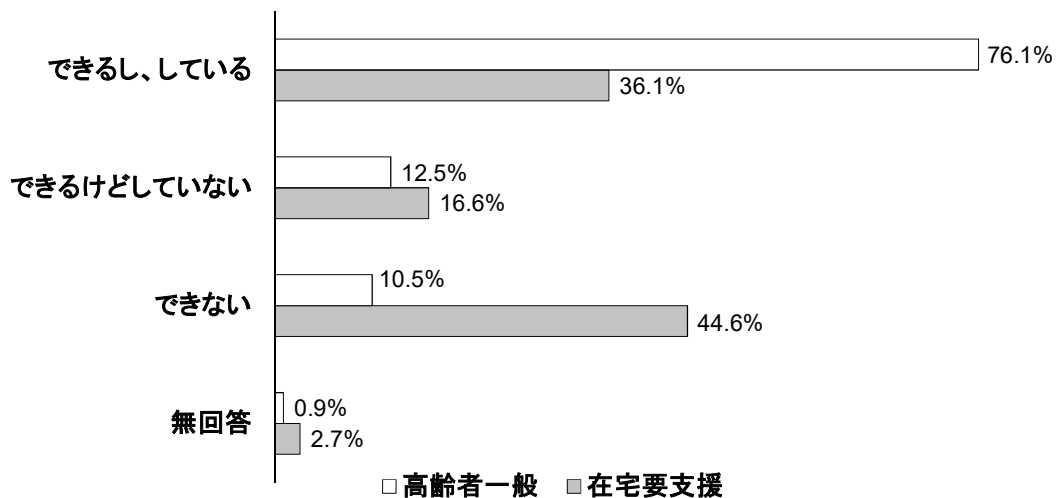
高齢者一般 N=1,936
 在宅要支援認定者 N=1,823
 在宅要介護認定者 N=1,561
 単純集計



椅子からの立ち上がり

高齢者一般 N=1,936
 在宅要支援認定者 N=1,823
 単純集計

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



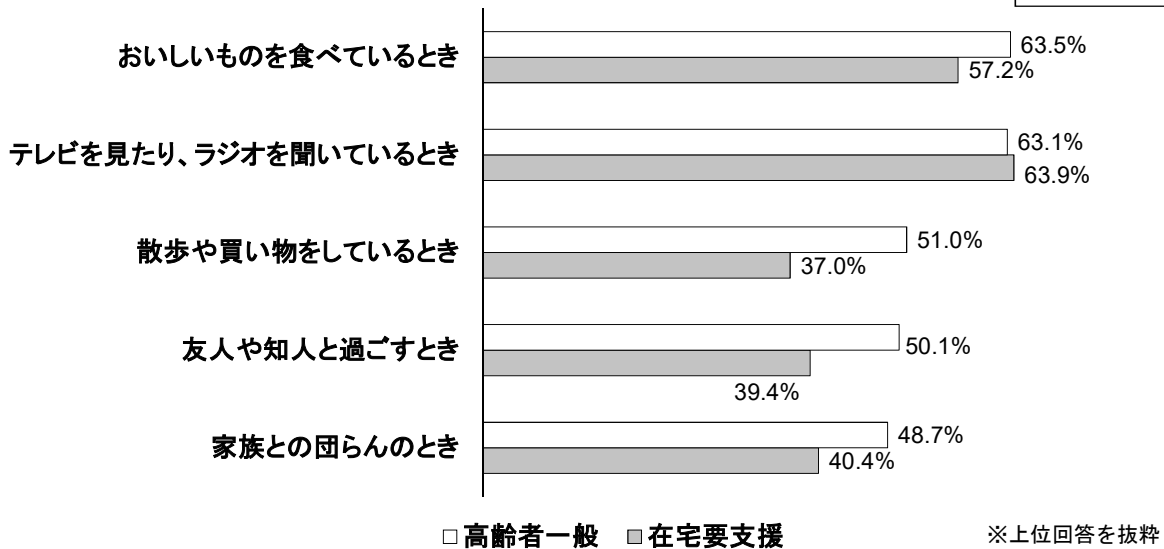
- ◆高齢者一般では「できるし、している」の割合が最も高い
- ◆要支援では「できるし、している」「できるけどしていない」の合計が52.7% (R1:42.8%)となっています



生きがいを感じる時

高齢者一般 N=1,936
在宅要支援認定者 N=1,823
単純集計

※複数回答
(いくつでも)



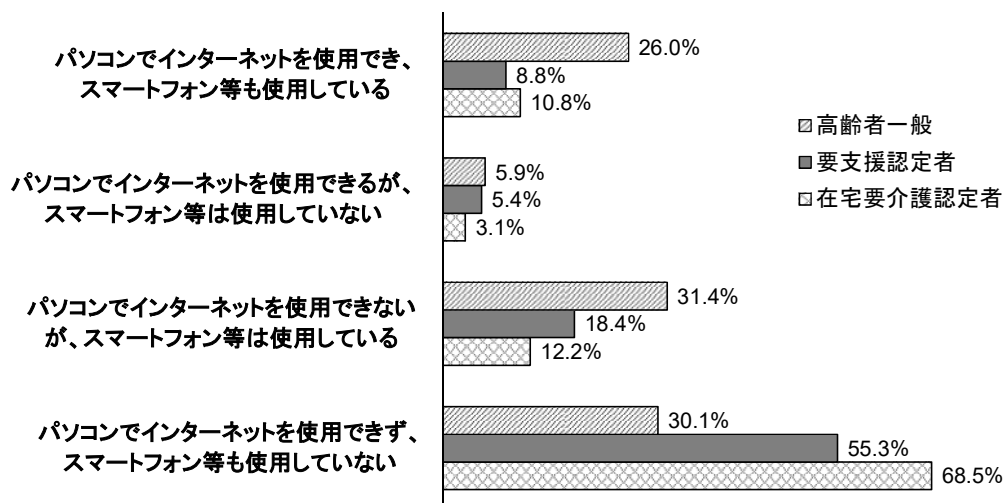
◆高齢者一般が「おいしいものを食べているとき」在宅要支援が「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が最も高くなっている（前回調査と同様の結果）



インターネット環境

高齢者一般 N=1,936
要支援認定者 N=1,823
要介護認定者 N=1,561
単純集計

日常生活で利用できるインターネット環境の有無

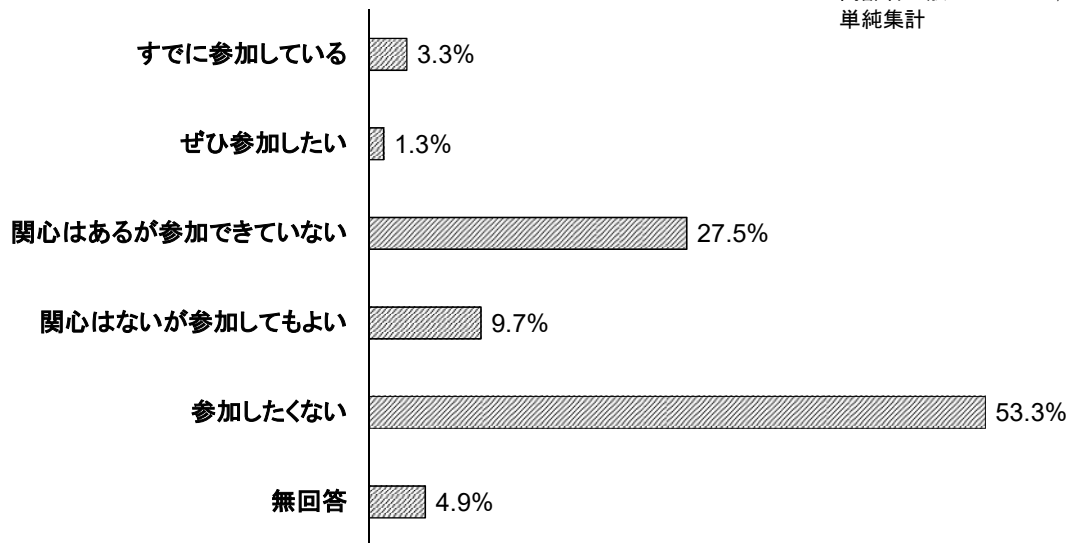


◆いずれかの方法で「インターネットを使用している」割合は高齢者一般が6割、要支援認定者が3割となっている
⇒ 高齢者のインターネット利用の増加を見込み、インターネットを利用した電子申請・福祉サービスを検討



地域住民による支え合い活動

高齢者一般 単純集計 N=1,936



◆ 「ぜひ参加したい」「関心はあるが参加できていない」「関心はないが参加してもよい」の合計が38.5%となっている (R1:32.5%)
 ⇒参加希望者を支え合い活動の新たな担い手として活動につなげる手法の検討が必要

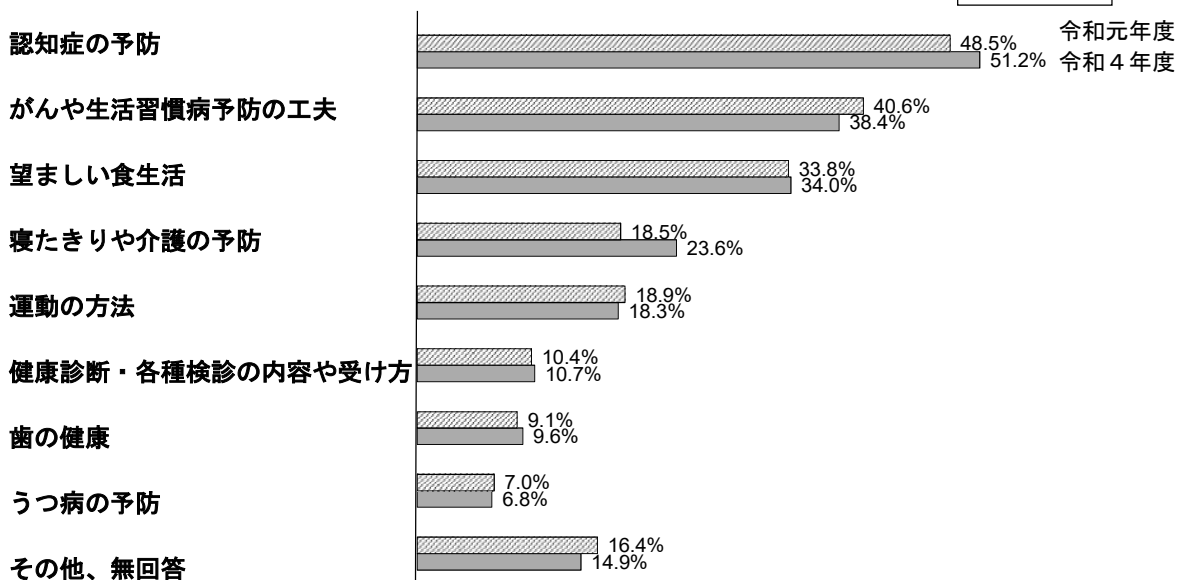


健康への関心

高齢者一般 単純集計
 前回調査との比較
 令和元年度 N=2,785
 令和4年度 N=1,936

健康について知りたいこと

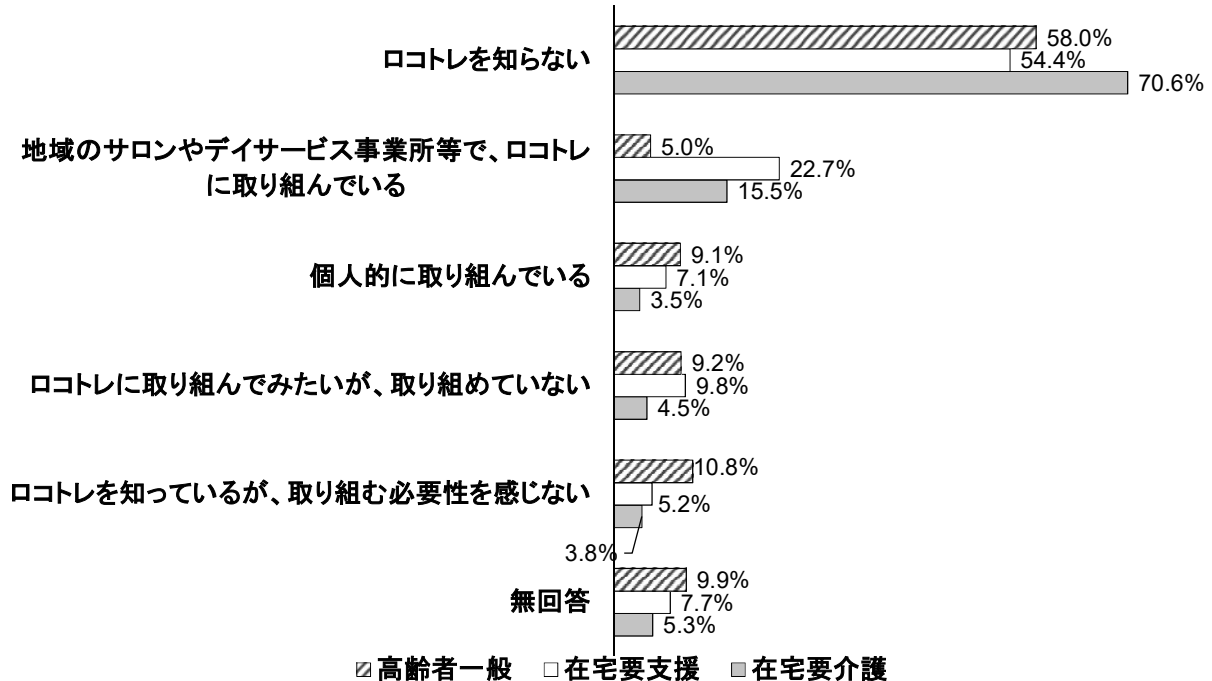
※複数回答
 (3つまで)



◆ 「認知症予防」への関心が、前回と同じく第1位
 がん・生活習慣病予防、食生活等への関心度も上位に位置づけられている
 ⇒関心事項に関する適切な情報提供の必要性



ロコトレの取組状況

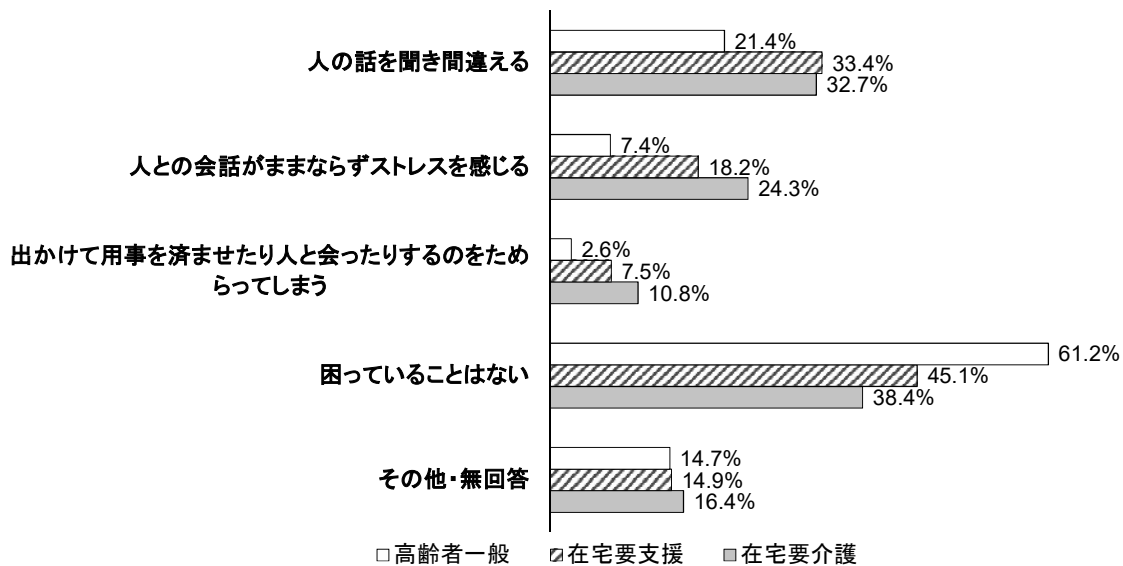


- ◆高齢者一般・要支援・要介護とも「ロコトレを知らない」の割合が最も高い
- ◆要支援で、「地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる」の割合が2割を超えている



耳の聞こえについて

耳の聞こえに関して困っていること



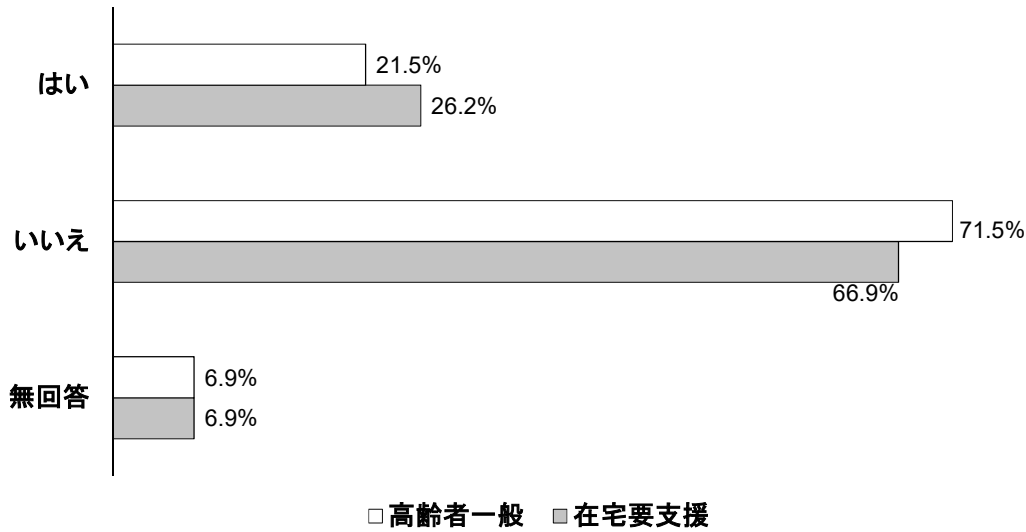
- ◆高齢者一般・要支援・要介護とも「困っていることはない」の割合が高い (R1:高齢者一般67.5%, 要支援42.9%, 要介護37.3%)
- ◆続いて「人の話を聞き間違える」の割合が高くなっている



認知症について

高齢者一般 N=1,936
 在宅要支援認定者 N=1,823
 単純集計

認知症に関する相談窓口を知っていますか

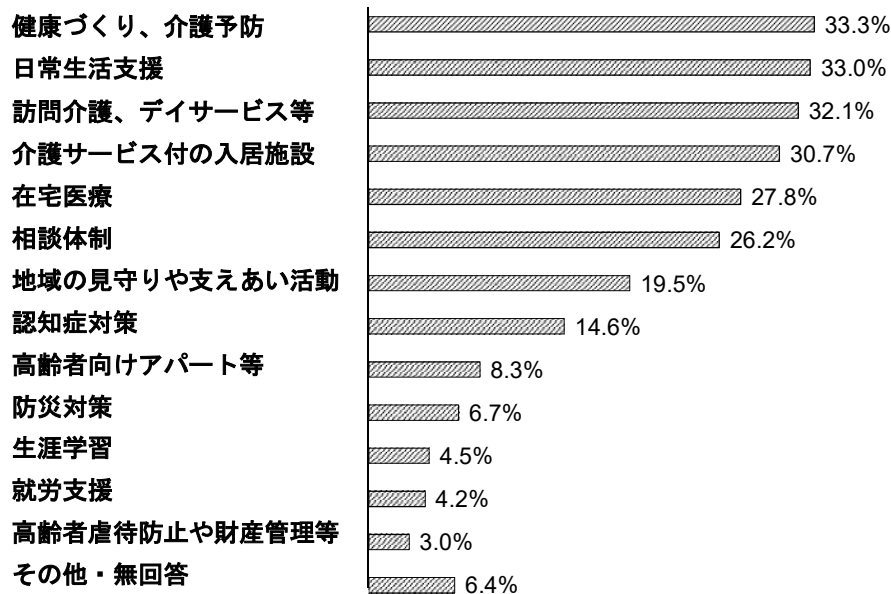


- ◆ 高齢者一般・要支援とも「いいえ」の割合が高い(R1: 高齢者一般74.8%, 要支援69.4%)
- ◆ 「はい」の割合が、高齢者一般よりも要支援のほうが高い



市に充実を求めること

高齢者一般 N=1,936
 単純集計



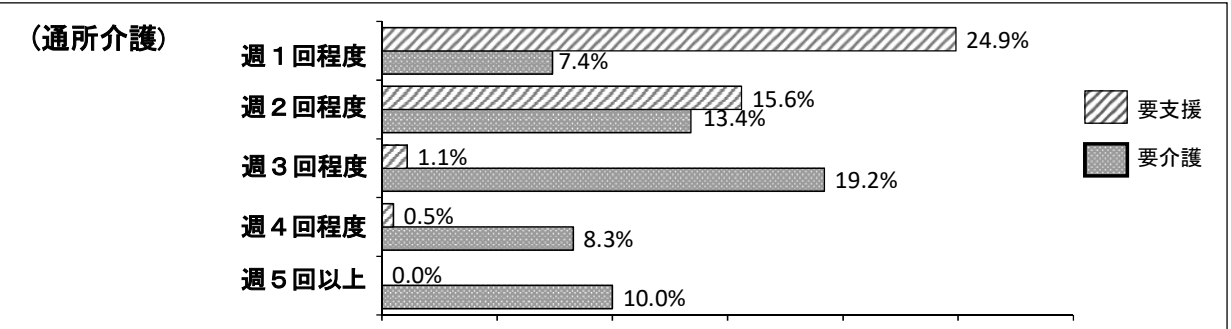
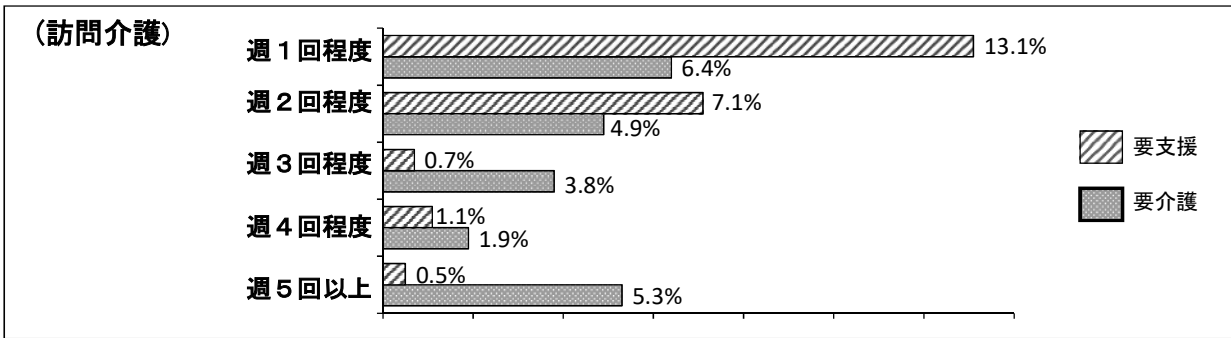
※複数回答
(3つまで)

- ◆ 健康づくりや日常生活支援に関することが上位に位置づけられており、続いて介護や医療に関することが求められている



現在利用しているサービス

在宅要支援認定者 N=127/563
 在宅要介護認定者 N=219/980
 単純集計

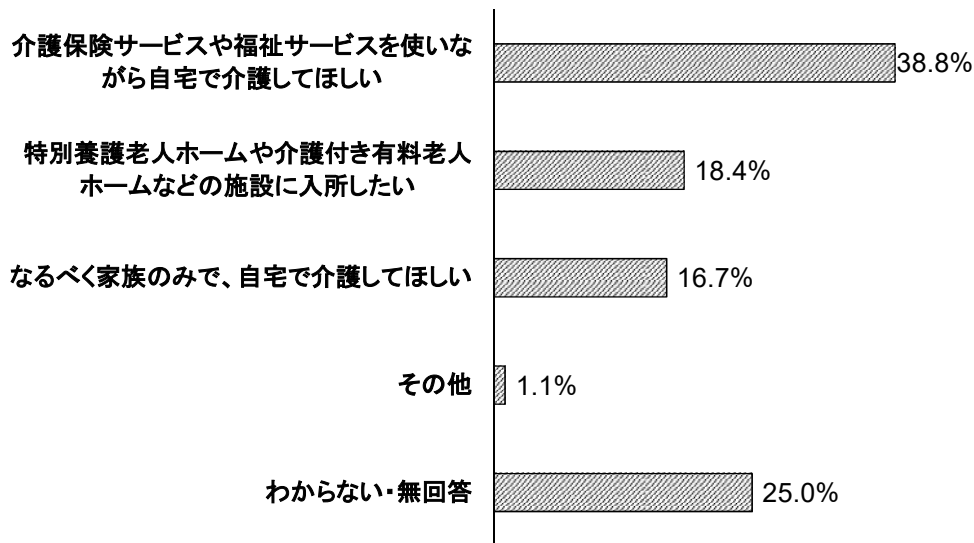


- ◆訪問介護サービスは要支援、要介護共に週 1 回程度が多い。
- ◆通所介護サービスは要支援が週 1 回程度、要介護は週 3 回程度の利用率が最も高い。



どこで介護を受けたいか

高齢者一般 N=1,936
 単純集計



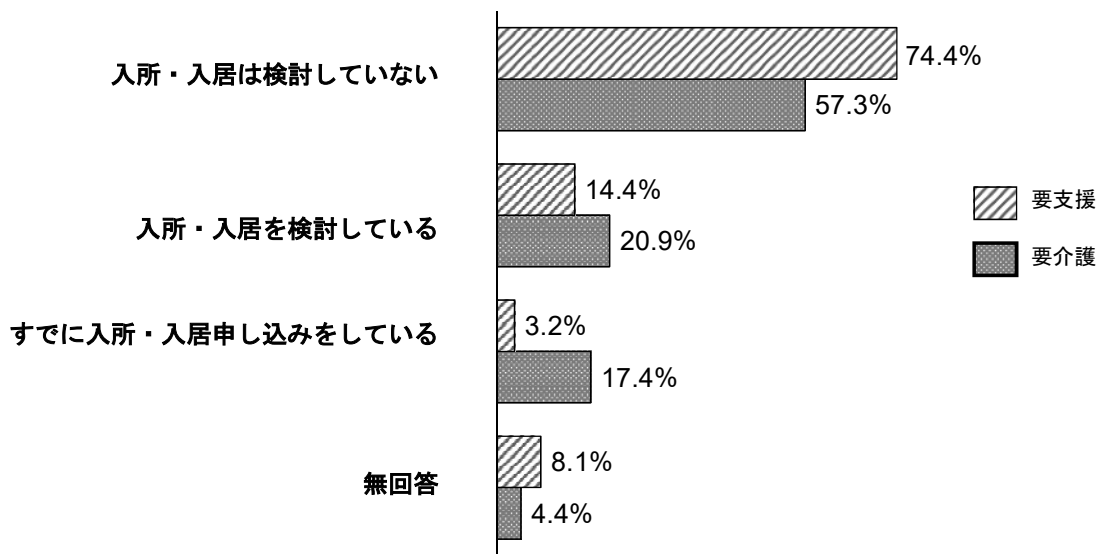
- ◆「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護してほしい」人が4割弱を占めており、前回調査結果より増加している (R1:37.6%)
- ◆「施設に入所したい」「家族のみで介護」は前回結果より減少している (R1:施設に入所 18.6%、家族のみで介護 17.7%)



施設入所・入居の検討状況

在宅要支援認定者 N=1,823
在宅要介護認定者 N=1,561
単純集計

現時点での、施設等への入所・入居検討状況

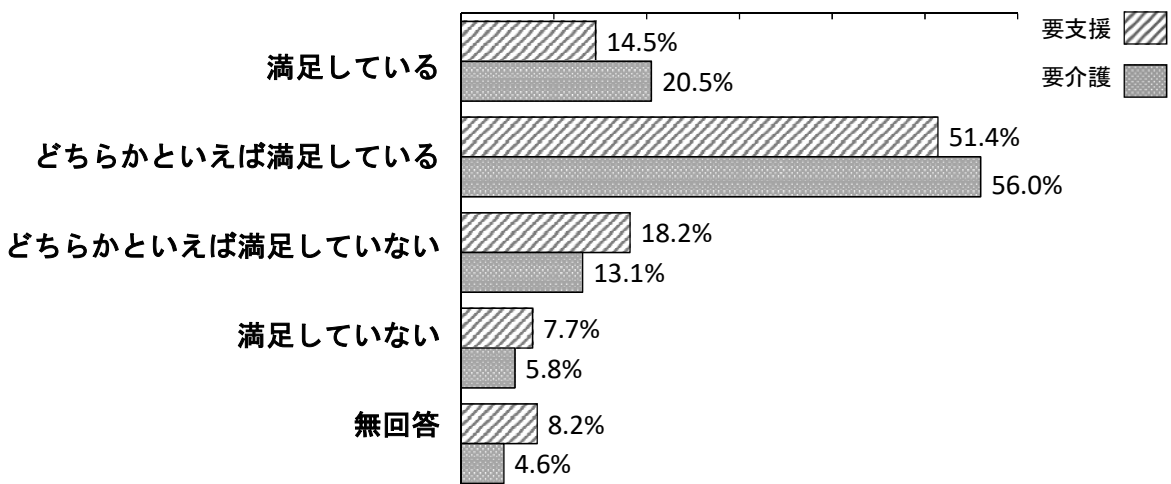


◆ 前回調査に引き続き要支援、要介護認定者調査共に、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっている。(R1:要支援 74.4%、R1:要介護 63.9%)
⇒ 利用者の状況に応じた適切な施設の整備に努めていく



介護保険制度の満足度

在宅要支援認定者 N=1,823
在宅要介護認定者 N=1,561
単純集計



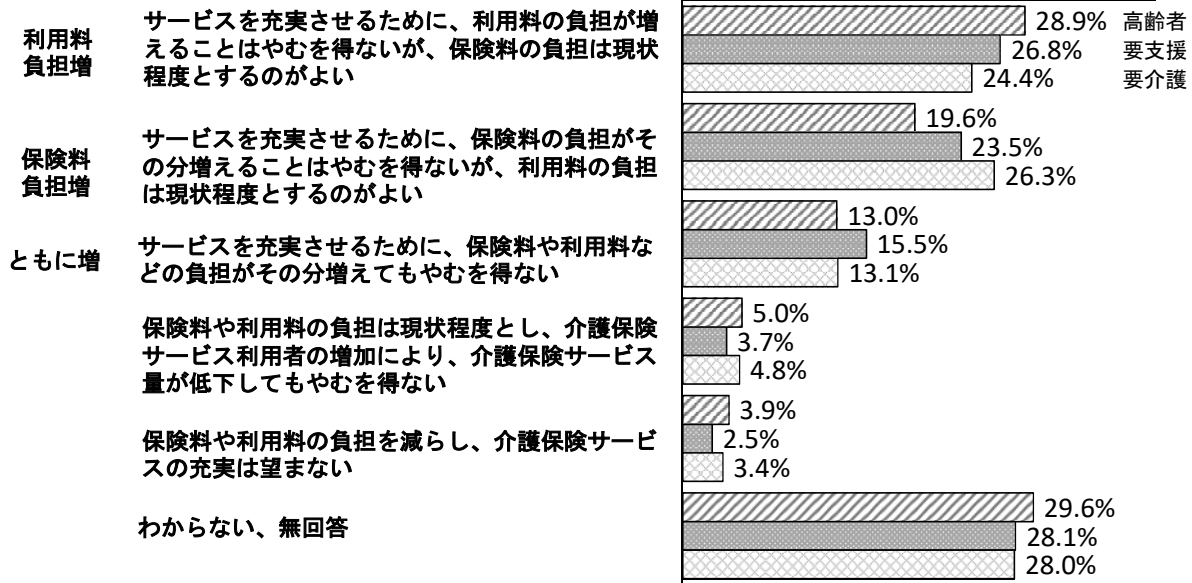
◆ 「満足」「どちらかといえば満足」の合計は、要支援 65.9%、要介護 76.5% と高い状況 (R1:要支援 66.0%、要介護 73.3%)
⇒ 要支援、要介護を合わせた制度への満足度は前回調査結果より上昇している



介護保険サービスの充実

高齢者一般 N=1,936
 在宅要支援認定者 N=1,823
 在宅要介護認定者 N=1,561
 単純集計

介護保険料と利用料の費用負担のあり方



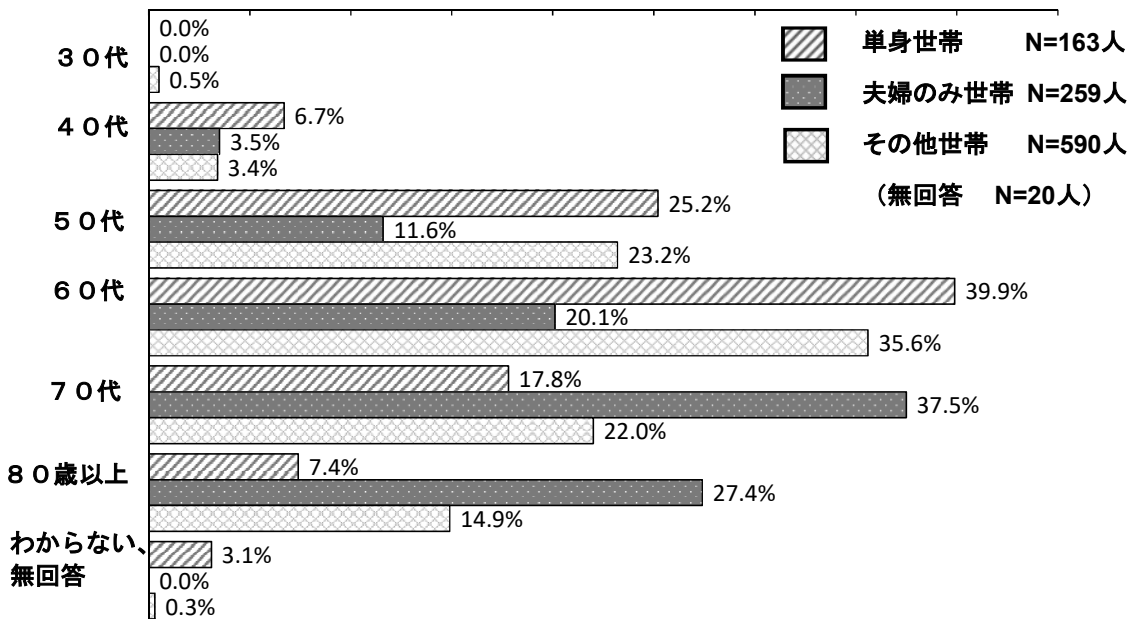
◆全体的に負担増があってもサービスの充実に希望している人が多い。高齢者一般調査では利用料の負担増の割合が高く、介護保険サービスを利用している要支援及び要介護調査では、保険料の負担増の割合が高い傾向にある。 ⇒ 保険料設定の参考



主な介護者の年齢

在宅要介護認定者
 家族構成別クロス集計
 N=1,032

家族・親族（同居していない子供・親族含む）から協力を受けている人のみの回答



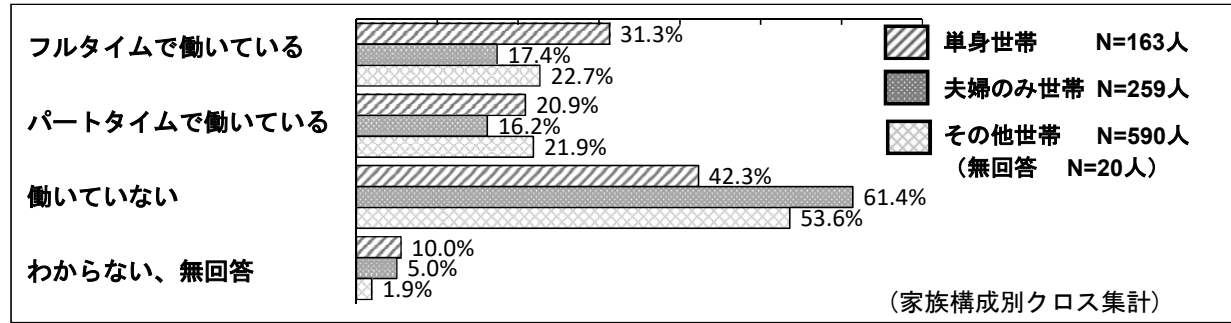
◆夫婦のみ世帯は70～80歳以上が多い（70歳以上が64.9%）(R1:69.0%)

◆単身世帯は50～60歳代が多い（60歳代が39.9%）(R1:43.3%)

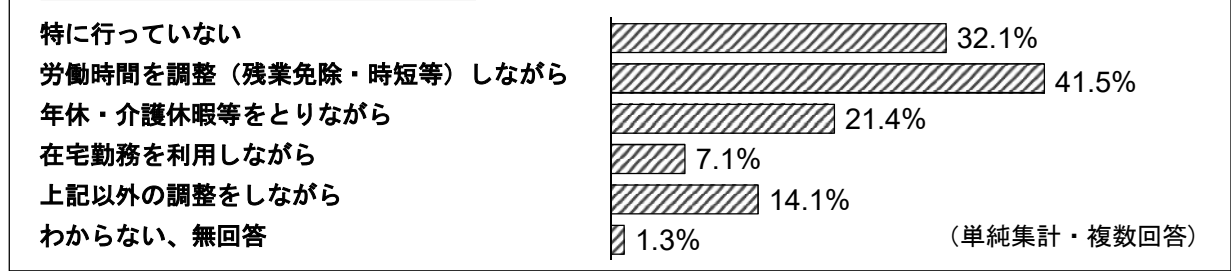


主な介護者の勤務形態

在宅要介護認定者
N=1,032



介護のための働き方の調整



- ◆主な介護者のうち、単身世帯またはその他世帯では約5割前後の方が働いている
→前回調査結果より夫婦のみ世帯のフルタイムで働いている割合が上昇 (R1:9.9%)
- ◆働いている介護者の約7割は、何らかの働き方の調整をしている

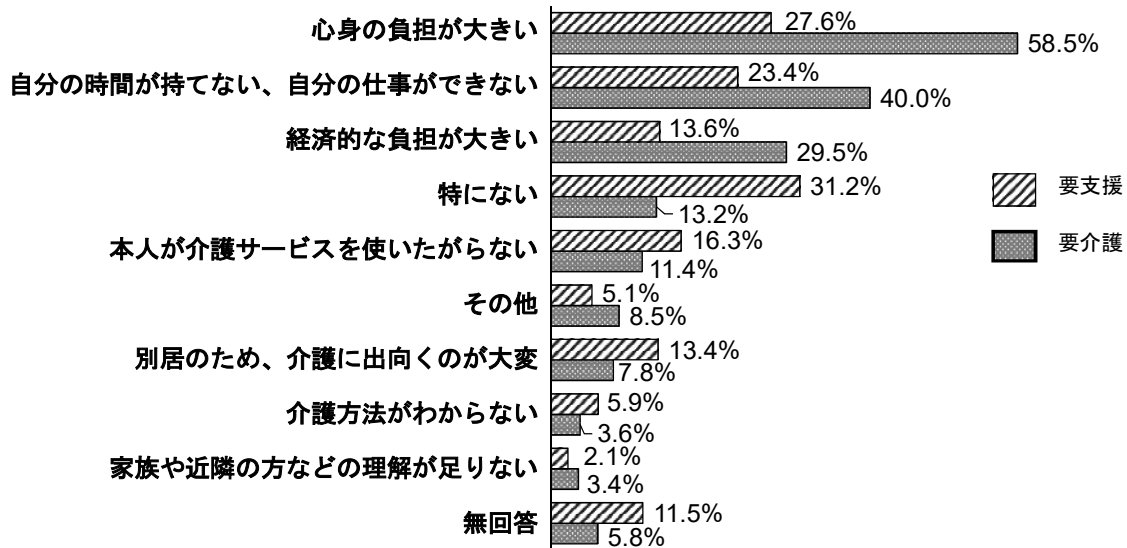


介護者の困りごと

在宅要支援認定者 N=471
在宅要介護認定者 N=1,032
単純集計

介護する上で困っていること（介護者）

※複数回答
(3つまで)



- ◆要介護認定者調査では、前回の調査結果と同様に介護者の半数以上が「心身の負担が大きい」と感じている ⇒ 適切なサービス利用の啓発、情報提供の必要性

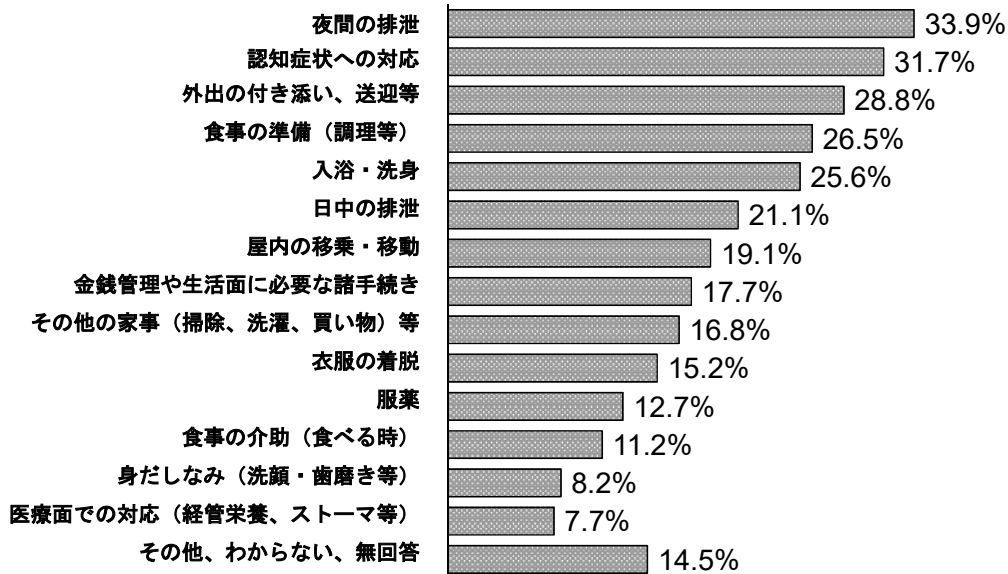


介護者が不安に感じる介護

在宅要介護認定者
単純集計 N=1,032

現在の生活を継続するにあたっての不安

※複数回答
(3つまで)



◆夜間の排泄、認知症状への対応、外出の付き添い・送迎等が前回調査に引き続き高い傾向にある ⇒ 不安解消に有効なサービスの提供や認知症施策の推進等の必要性

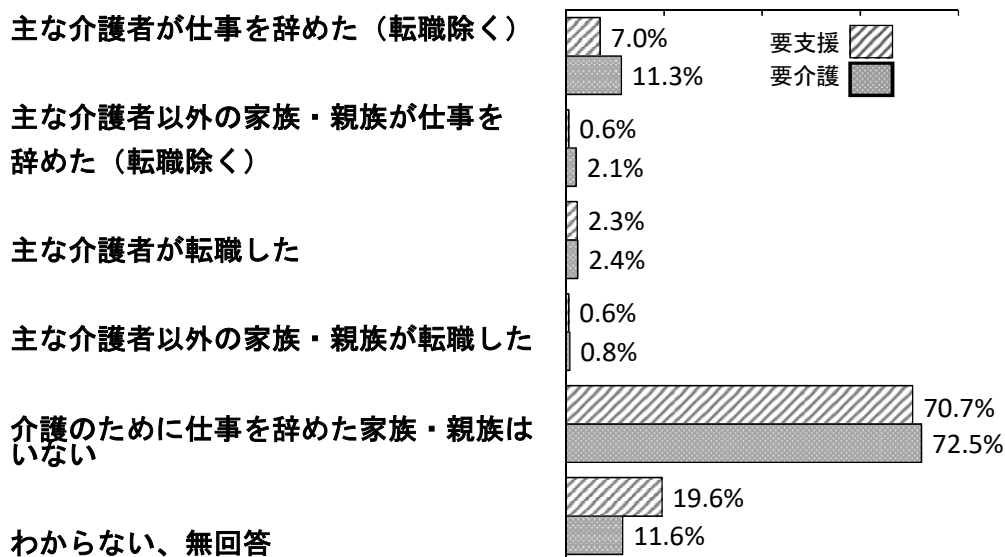


介護のための離職

在宅要支援認定者 N= 471
在宅要介護認定者 N=1,032
単純集計

家族・親族で過去1年間に仕事を辞めた人

※複数回答
(いくつでも)



◆過去1年間に、在宅要介護認定者の介護者や家族・親族で仕事を辞めた人は前回調査時と同様に約1割 ⇒ 介護のために離職する人を減らすための施策の必要性



ダブルケアの状況

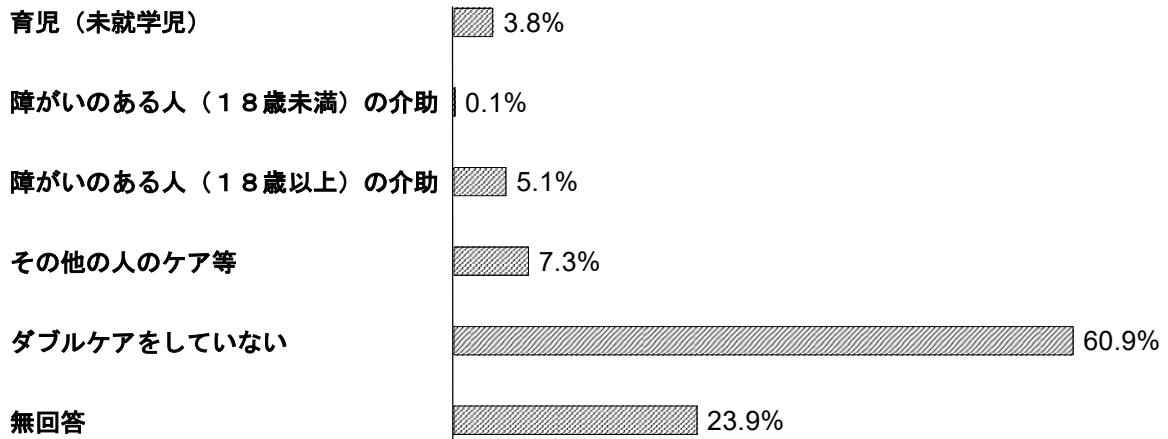
在宅要介護認定者の介護者 N=1,032
単純集計

※ここでの「ダブルケア」とは、「高齢者の介護」と「育児・障害のある人の介助・その他の人のケア」を同時に担うことを指します。

※複数回答あり

※「育児」とは、未就学児（小学校入学前の子ども）を対象とし、日常的に孫の育児に携わっている場合も対象とします。

現在または過去5年以内に高齢者の介護と同時に行っているケア



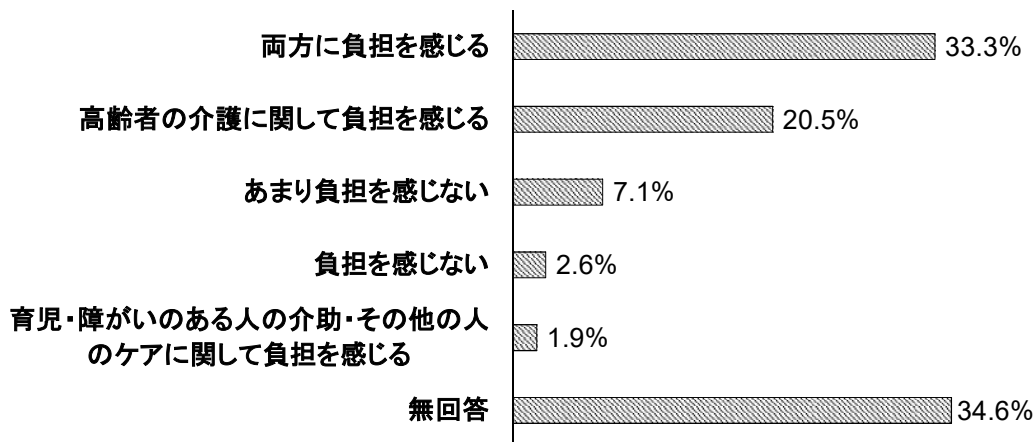
◆ダブルケアをしていると答えた人が1割を超えている



ダブルケアの負担感

在宅要介護認定者の介護者のうち
ダブルケアをしている人
N=156 単純集計

「高齢者の介護と他の人のケアを同時に行っている」と回答した人に聞いた負担感



◆ケアに対して負担を感じている人が半数を超えている